



学校だより第9号

令和8年1月9日

新宿区立戸塚第三小学校



なまづかれ
100th Anniversary

新しい出発～ご縁とともに～

校長

令和8年 新しい年を迎えました。戸三っ子、ご家庭・地域の皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈りします。昨年は温かなご理解とご協力をいただき、教育活動を進めることができました。心より感謝申し上げます。

12月13日に開校100周年記念式典を行いました。新宿区長 吉住健一様、教育長 針谷弘志様、教育長職務代理者 鴨川明子様をはじめ、たくさんのご来賓の皆様にご参會いただきました。5・6年生の児童は、お客様を式場や控室までご案内させていただいた後、「式典」という場に在校生代表として参加しました。地域の皆様や旧職員の皆様に見守っていただきながら、100年の越し方を振り返り、行く末を見つめ、次代を担う喜びを「糸」「ぼくらの日々」の歌唱とともに、体いっぱいに表現しました。式典の第2部では、「16年生」の新宿区特別児童「鉄腕アトム」も登場し、ご参會の皆様と「鉄腕アトムの歌」「校歌」「ふるさと」の歌声を響かせフィナーレとなりました。周年事業実行委員会・同窓会の皆様の様々なご準備とご協力、同窓会ご来賓の皆様の会場内の接待や11月末の記念集会でのバルーンリリースでのサポートなどでお力添えをいただいた保護者の皆様にも改めて感謝いたします。

100年の歩み・100年の重みを学び、皆々様のご縁と想いを心に、未来へ、次の100年へとバトンを繋いでいく新しい出発となりました。関係のすべての皆様に改めて感謝を申し上げます。

開校100周年記念児童集会・学習発表会・記念式典

周年行事実行委員長

開校100周年を記念した行事を無事に挙行することができました。当日は、多くの方々に見守られながら、子どもたちが堂々と発表し、学校の歴史に新しい1ページを刻む時間となりました。それぞれの学年で力を合わせて、準備を進めてきました。練習では、大きく分かりやすく表現し、声を出すために工夫を重ねました。また、会場準備や進行係は、自分の役割に責任をもってやり遂げ、全体を支える大きな力となりました。その一つひとつの努力が、当日の温かく、心のこもった集会につながりました。100周年という節目を、子どもたち自身の力で盛り上げることができたことを、とても誇らしく感じています。これからも、学校の伝統を大切にしながら、未来へ向かって歩んでいけるよう、日々の教育活動を進めていきます。ご協力いただいた保護者・地域の皆様に、心より感謝申し上げます。振り返りの中から一部を紹介します。（原文のまま）

- ・1ねん生がトップバッターだったのできんちょうしたけれど、いい声が出せました。たのしかったです。おにいさん、おねえさんははっぴょうもすごかったです。（1年生）
- ・自分たちははっぴょうで、きんちょうしたけれど、いつもより上手にできました。と中で、手びょうしをしてくれたのでリズムがとりやすかったです。とてもうれしかったです。（2年生）
- ・自分の役を一生懸命練習したこと、本番は、上手に発表ができました。（3年生）
- ・染物を最後みんなで見せることができて、とてもうれしかったです。（3年生）
- ・声の出し方を工夫しました。マイクを使ってもぼそぼそ言うと聞こえにくいのではきはき言うように工夫しました。げきの人も博士の人も大成功でした。みんな頑張って練習してきたからだと思います。（4年生）
- ・どの学年も戸三小の事をよく調べ、分かりやすく面白い発表ができたと思います。学年全員でやることにより、より団結力が強くなりました。（5年生）
- ・「私たちの戸三小」を読んで、戸三小にはたくさんの歴史があることを知りました。他の学年の劇などを観て、染物や神田川の歴史についても学ぶことができました。（5年生）
- ・みんなで助け合うということ、挑戦するということを学びました。やったことのないことに挑戦することは大切だと思いました。（6年生）
- ・100周年の在校生になれたことを誇りに思い、「仲間と協力して作り上げる」や「あきらめずに最後までやり遂げる」をこれから学校生活などにいかしたいです。（6年生）
- ・セリフが頭に入ってこなくて噛んでしまったけど、友達が「大丈夫だよ！気にしないで！」と言ってくれてうれしかったです。（6年生）